

科目名	建築施工	英語科目名	Building Construction
開講年度・学期	平成 22 年度・通年	対象学科・専攻・学年	建築学科5年
授業形態	講義	必修 or 選択	選択
単位数	2単位	単位種類	履修単位(30h)
担当教員	川上勝弥	居室(もしくは所属)	建築学科棟1階
電話		E-mail	
授業の達成目標			
1. 工程表から工事に要する日数を概算することができる。 2. コンクリートの呼び強度、供試体強度等の関係が説明できる。 3. 鉄骨の接合工法の特徴について説明できる。 4. 仕上げ工事(特に、塗装工事、左官工事)における、施工上の留意点について説明できる。 5. 建設副産物について説明できる。			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
達成目標1～5: 中間試験および期末試験の成績並びに提出レポートの内容を設定水準で評価し、60%以上の成績で評価する。			
評価方法			
評価は、次の4項目により行う。 1. 中間試験(40%) 2. 期末試験(40%) 3. 単元テスト(10%) 4. 提出レポート(10%) なお、試験における参考書、コピー、携帯電話、電卓、ノート、メモ等の持ち込みは不可。			
授業内容			
1. 建築施工の特異性についてー建築基準法、仕様書(1週)			
2. 施工計画ー施工計画書、設計図書、事前調査(1週)			
3. 工程管理ー工程表、管理図(1週)			
4. 仮設工事(1)ー仮設、足場、(1週)			
5. 仮設工事(2)ー建設機械(1週)			
6. 土工事(1)ー根切り、山留め、排水(1週)			
7. 土工事(2)ーくい工事(1週)			
8. 前期中間試験(1週)			
9. [前期中間試験の答案返却・解説]、鉄筋コンクリート工事(1)ー鉄筋工事(1週)			
10. 鉄筋コンクリート工事(2)ー型枠工事(1週)			
11. 鉄筋コンクリート工事(3)ーコンクリート工事(1週)			
12. 鉄筋コンクリート工事(4)ー検査(1週)			
13. 鉄骨工事(1)ー建て方(1週)			
14. 鉄骨工事(2)ー接合(1週)			
(前期期末試験)			
15. [前期期末試験の答案返却・解説]、メーソリー工事ー組積、充填、目地(1週)			
16. ALC工事ー屋根・床工法、壁工法(1週)			
17. 防水工事ーアスファルト防水、シーリング防水(1週)			
18. 石工事ー湿式工法、乾式工法(1週)			
19. タイル工事ータイル張り工法(1週)			
20. 木工事ー木材の乾燥、使用部位(1週)			
21. 左官工事(1)ー日本壁(1週)			
22. 左官工事(2)ープaster塗り(1週)			
23. 後期中間試験(1週)			
24. [後期中間試験の答案返却・解説]、カーテンウォール工事ー取付方法、ジョイント(1週)			
25. ガラス工事ー固定方法(1週)			
26. 塗装工事(1)ー塗料の種類と特徴、吹き付け(1週)			
27. 塗装工事(2)ー塗料の種類と特徴、吹き付け(1週)			
28. 解体工事ー解体方法、廃棄物処理、建設副産物(1週)			
29. クレーム予防ークレーム、かし(1週)			
(後期期末試験)			
30. [後期期末試験の答案返却・解説]、安全と建設公害ー労働安全衛生法(1週)			
キーワード	建築施工、JASS、躯体工事、仕上げ工事、建設副産物、かし		
教科書	大岸佐吉・中山五郎編「現代 建築生産」オーム社		
参考書	日本建築学会「建築工事標準仕様書(JASS)」		
小山高専の教育方針①～⑥との対応	④		
技術者教育プログラムの学習・教育目標	(A-3) (C-3)		
JABEE 基準1の(1)との関係	(d(2-d))		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	建築材料、建築実験、鉄筋コンクリート構造、鋼構造		
現学年の関連科目	建築法規、建築設備、木構造		
次年度以降の関連科目			
連絡事項			
1. 建築における“ものづくり”に関する講義を中心とするので、専門用語に慣れること。 2. 試験は90分とする。 3. 学習レベルとして、1級建築士の施工を想定している。			
シラバス作成年月日	平成 22 年 3 月 10 日		